

農業委員会だより



# むらかみ

No.6

平成25年10月



切田集落の神楽舞

写真は荒川地区切田集落の神楽です。八坂神社の礼大祭で奉納される神楽が起源とされ、その歴史は約300年と伝えられています。8月21日、22日の両日五穀豊穰を願って、「神楽舞」「手踊り」「天狗舞」「鳥刺し舞」など様々な演目が行われました。

- 発行 新潟県村上市三之町1番1号  
村上市農業委員会  
広報委員会
- TEL 0254-53-2111
- FAX 0254-53-3840
- ホームページアドレス  
<http://www.city.murakami.lg.jp>
- メールアドレス  
[noi@city.murakami.lg.jp](mailto:noi@city.murakami.lg.jp)

## 交替による新規農業委員の紹介



五十嵐忠多郎  
(上中島)

土地改良区の推薦を受け、3月1日付で選任されて今日に至りました。会長はじめ委員の皆様のご指導、ご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

委員となり感じたことは、農地転用、流動化、遊休農地等の農地に係わること、認定農業者、農業者年金、経営移譲等担い手関係、その他鳥獣害、作況調査等々、その活動内容が多岐にわたっており、任務を重く感じております。又、先般の地区農地パトロールで現地調査の際、未整備地だけでなくほ場整備完了地内にも遊休農地があり、心に引つ掛りを感じました。転作配分、立地条件、耕作者等問題が重なったこととは思いますが、農地の効率的利用を模索して荒廢地にならぬことを願うと共に、微力ながら応援していく所存であります。



本間 文春  
(堀ノ内)

この度、平成25年6月1日付にて、下越農業共済組合の理事になり、同日付にて下越農業共済組合の方より選任にて村上市農業委員になりました、旧山北町大字堀ノ内出身です。

農業委員となり、まだ3ヶ月余りですが、月1回の定例総会、不耕作田の現地視察、又住宅建設予定地の視察等にて、大変な役割と日々思っています。

これからの抱負ですが、任期3年間の中で、地域に密着した農業委員になりたいと思います。微力ではございますが、諸先輩の農業委員、農業委員会事務局、農家の皆様、御指導の程宜しくお願い致します。

簡単ではございますが、新任の挨拶とさせていただきます。



## 視察研修に参加して きつといつかは花が咲く



農業委員  
遠山かづえ  
(金屋)

去る7月2日、3日、村上市農業委員会では、東日本震災後の復興に取り組む、福島・宮城の地に視察研修を行なった。

最初に福島県二本松市農業委員会へ。原発事故で放射能汚染に見舞われる、その除染対策や、風評被害が続く現状を伺う。

土壌改良剤散布や深耕による水田除染、米の全袋検査や農産物の放射性物質の測定など、安全が確保されているのに売れない。特に桃はダメージが大きく、半数の人は目もくれないという現実、風評被害の深刻さに胸がいたむ。

私たちは、これらのことにきちんとした認識を持たなければならぬと感じる。

次に向かったのは、宮城県南三陸町農業委員会。震災の前年にも



被災地での研修風景

訪れているが、15メートルを超える津波で、海岸沿いのあらゆるものが壊滅的な被害を受け、景色も一変していた。被害を受けた農地の営農再開は、あきらめの心情も強く難しいとのこと。新たに不在地主の問題も出てきている。

2年半が経過し、高台移転も進み、新しいまちづくりが始まっている。困難な状況にありながらも人々は、前向きである。被災地の現状に関心を持ち続け、自分達のできることで応援していきたいと思う。

2日目は雨となったが、自然豊かな東北の味を満喫し、有意義な視察研修になったと感じている。



# 村上市への建議



10月11日、市長及び市議会議長に建議を行いました。

## 1. 国・県に対する事項

### (1) TPP交渉について

今回のTPP交渉参加で、重要5品目等の聖域確保ができないなど、国益を守れない交渉には断固反対であることを、あらゆる機会をとらえて国・関係機関に対して強く要請していただきたい。

### (2) 経営所得安定対策について

戸別所得補償制度から名称を変えて経営所得安定対策としてスタートしたが、平成26年度以降の制度は今後の検討課題となっているので、農業・農村現場に目線を向けた対策となるように、国・関係機関に強く要請していただきたい。

### (3) 燃油等の資材費の高騰について

急激な田安等の影響により、燃油をはじめとした資材費や飼料代が高騰していることに対し、農林水産業者の経営への影響を考慮して万全な対策を要請していただきたい。

## 2. 村上市に対する事項

### (1) 事務局体制の充実について

基幹産業としての農業を守り、支えるにはさらなる市の支援が必要です。そのため農業関係職員の増員と、併せて農業委員会事務専任職員の支所への再配置の検討をお願いしたい。

### (2) 地産地消の取り組みについて

いまだ「村上ブランド」は全国的には知名度が低い状況です。今後とも引き続き情報発信体制整備と、特産品の開発、併せて農産物直売所等による地域経済の活性化に力強い支援をお願いしたい。

### (3) 野生鳥獣害対策について

山間部はおろか平場でも農作物に対する猿害等が増加しており、農業者の高齢化と併せて、耕作放棄地のさらなる拡大が懸念されます。

現在、電気柵設置等の助成事業に積極的に取り組んでおられますが、更なる支援と、併せてきめ細かな対策についても支援をお願いしたい。

### (4) 担い手対策について

認定農業者や「人・農地プラン」に位置づけられた中心経営体が、経営発展のために実施する経営基盤の近代化、法人化の推進、併せて財務管理能力向上などにも支援をお願いしたい。

## 農地のパトロール

農業委員会では、農地パトロールを実施し、遊休農地の実態把握と発生防止及び解消、農地の違反転用発生防止対策等について取り組んでいます。

今年には市内各5地区において7月17日～8月1日に実施しており、地区の農業委員全員の目視により調査を行いました。

今後とも優良農地を守るため、農業委員一丸となって取り組んで参ります。



## 青色申告講習会

7月31日、村上市民ふれあいセンターにおいて、村上市農林水産課と農業委員会共催による青色申告講習会を開催しました。

この講習会は、農業経営の安定と合理化を推進するため、村上市務署から講師を招いて青色申告の概要、メリット、申請手続きについて指導を受けました。

当日は認定農業者を中心とした36名の農業者が参加し、経営改善を目指し、熱心に学びました。

### 平成26年度

## 農作業等労働賃金標準額の策定について

農作業等賃金支払い時の目安となる標準額が策定されました。

この標準額は2年に一度、農業委員と村上市5地区の委託者・受託者の代表が話し合って検討しているものです。

今回は、市町村合併から15年が経ち、これまで地区毎に細かく定めていた項目を洗い直し、村上市全体としての統一単価を策定しています。折り込みのほか、ホームページにも掲載してありますので、参考にしてください。



山辺里の稲葉信市さん(24)は、大学を卒業後に就農を開始し、現在は父の信義さんと共に水稲8haの他に、ユリの切花生産、野菜苗の育苗販売を経営の柱とする、複合経営を行っています。

人・農地プランに位置づける農業者でもある信市さんは、「今は色々な経験を積むために様々な事に挑戦している。JAの試験圃場として展示したり、若手農業者の集まり(ろっくしっぷ)にも参加しています。

やるべきことや覚えなければならぬ事が多く毎日大変だが、認定農業者の資格も父から引き継いでおり、補助事業も活用している。補助事業期間の終わる平成30年までに後継者として自立するのが目標です」と意気込みを熱く語ってくれました。



農家の跡取りとして精一杯頑張ります！

## 進めよう地産地消 取り組もう6次産業

(農産物加工)

村上市地産地消推進協議会主催による、地産地消料理講習会が2月5日に開催されました。

この講習会は、地産地消の推進を目指して平成22年度から開催されており、今回は「まんまスティック」という「にたて餅」から生まれた村上市の特産品を活用した料理でした。



当日は、市内から集まった29名の参加者が、講師の指導を受けながら鮭の洋風酒かす煮、トッポギ、お茶ゼリーなどを作りました。参加者からは、「まんまスティックは初めて食べたが美味しかった」「道の駅やスーパーで売ってほしい」「地産地消を進める為にも、地域の特色を生かした講習会を今後も続けてほしい」といった意見が出ていました。

### 問い合わせ先

村上市地産地消推進協議会事務局  
(村上市農林水産課内)  
TEL 533-2111 内線344  
FAX 533-3840



材 料(4人分)  
村上まんまスティック 4~5本、牛ももうす切り肉 100g、玉ねぎ 1個、にんじん 1/2本、ピーマン 1個、ねぎ 1/2本、しめじ 1株、酒 100cc、砂糖・みりん・醤油 各大2、コチュジャン 大2、ごま油・サラダ油 各少々

作り方

1. まんまスティックは3~4cm程度のななめ切りにし、お湯につけて柔らかくしておく。
2. 牛ももうす切り肉は、一口大に切り、玉ねぎはうす切り、にんじんは4cmの短冊切り、ピーマンは縦の細切り、ねぎはななめうす切り、しめじはほぐしておく。
3. 鍋にサラダ油を熱し、玉ねぎ、にんじん、ピーマン、しめじ、牛肉を炒めて①を加えて、調味料を入れてさらに炒める。
4. ねぎを加えて、さっと炒め、香りづけにゴマ油を加える。



材 料(4人分)  
村上まんまスティック 3~4本、バター 少々、醤油 適量

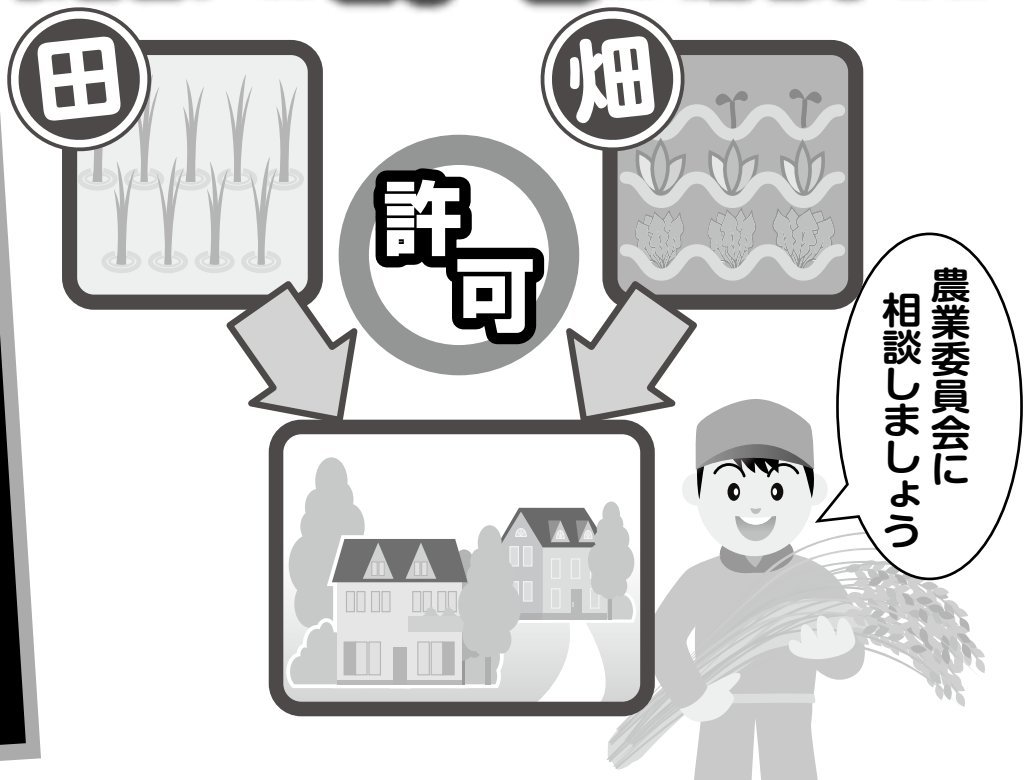
作り方

1. 村上まんまスティックを2cm位に切り、フライパンを熱し、バターを溶かし弱火で転がしながら、きつね色になるまで火を通す。
2. 醤油を入れて調味し、火を止める。
3. 好みで青のりを振りかけたり、のりを巻いて食べても良い。



# 農地の転用には許可が必要です

**STOP! 不法投棄!**  
 早期発見・早期通報・早期解決



**!** 違反転用したり、許可どおりに転用しなかったら…  
**現状回復等の命令、罰則の適用があります。**

①違反転用	3年以下の懲役または300万円以下の罰金
②違反転用における現状回復/命令違反	(法人は1億円以下の罰金)

**×** 資材置場にしたり **×** 青空駐車場にしたり **×** 産廃の捨て場にしたり **×** 建設残土の捨て場にしたり **×** 農業用施設を建てたり

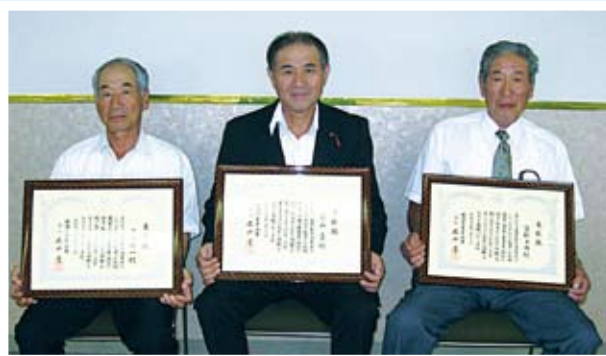


※毎月月末 定例総会開催 ※年2回 広報委員会 ※年4回 農政振興部会 8日 地区別農業委員研修会	<b>8月</b> 17日～8月1日 農地パトロール 20日 農地調整部会	<b>6月</b> 24日 全国情報会議 10日 地域農業活性化検討会	<b>4月</b> 27日 役員会 19日 農作業労働賃金標準額検討会	<b>3月</b> 23日 農政懇談会 21日 現地研修会	<b>2月</b> 8日 市町村農業委員会幹部研修会 18日 選挙人名簿審査会	<b>1月</b> 19日 全国農業委員会長代表者集 6日 人・農地プラン検討会	<b>12月</b> 20日 県農業委員大会 9日 岩船地区農政・情報会議	<b>11月</b> 6日 農地パトロール 8日 農業者年金加入推進会議 15日 市への建議要請 19日 農業委員現地研修会	<b>10月</b> 18日 市農業振興地域整備計画審査会 13日 農業経営改善計画認定審査会 12日 作況調査	<b>9月</b> 平成24年9月～25年8月 <b>農業委員会主要活動報告</b>
--	---	---	---	-------------------------------------	---	--	---	--	---	--

# 農業委員交替に伴う担当地区の変更

氏名	居住地	担当地区
河面 秀喜	大毎	大沢、大毎、北中、北黒川、荒川、中津原、鷺泊、寝屋、碁石、勝木、間瀬、下大蔵、立島、長坂、遠矢崎、板屋沢、垣之内、北赤谷、下大鳥、北田中、上大鳥
本間 文春	堀ノ内	府屋、岩崎、中浜、伊呉野、堀ノ内、温出、大谷沢、塔下、杉平、遅郷、荒川口、朴平
富樫 力雄	堀ノ内	小俣、大代、雷、中継、山熊田

氏名	居住地	担当地区
稲葉 浩之	山辺里	山辺里、西興屋、仲間町、四日市
鍋倉 静雄	大関	大関、鋳物師、袋、菅沼、坪根
池田 千秋	日下	日下、小谷、下山田、上山田、天神岡
五十嵐忠多郎	上中島	上中島、石住、笹平、釜杭、瑞雲、小揚
本間 裕一	中新保	新屋、中新保、堀野
船山 寛	小川	古渡路、あけぼの、小川、十川、熊登



※左から、遠山職務代理、石山会長、富樫委員

## 平成25年度 永年勤続の表彰

農業委員を長年勤めた方を表彰する永年勤続農業委員表彰が行われ、村上市農業委員会から石山章会長が30年勤続、遠山利一職務代理と富樫力雄委員が15年勤続により表彰されました。長年の経験を生かし、今後とも農業委員として活躍されますことをご祈念申し上げます。

## メリットいっぱい農業者年金

農業者年金は、農業の担い手が「老後の安心と安定」を展望しながら農業に従事できるよう作られた農業者のための年金です。

### 農業者年金のポイント

- 加入要件は
  - ①国民年金の第1号被保険者で
  - ②年間60日以上農業に従事する
  - ③60歳未満の方なら男女問わずなどなでも加入できます。
- 保険料は2万円から6万7千円までの間なら1,000円単位で自由に決められます。
- 終身年金で80歳までの保障付です。
- 納めた保険料は所得税・住民税を節税できます。
- 認定農業者などの担い手には保険料の国庫補助があります。



詳しい内容や、加入の申し込みは最寄りの農業委員会・JAへ

## 魅力あふれる全国農業新聞

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門紙です。

### 農業者の視点でお届けします

- ①特徴のある週刊新聞 …… 解説に力点をのいたニュース報道と企画編集
- ②時代に鋭く斬り込む …… 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- ③経営に役立つ …… 経営者マインドと実務情報
- ④喜びや悩みを共感できる …… 読者の心に訴える
- ⑤深みと味がある …… 単なる情報で終わらない
- ⑥読みやすく親しみやすい …… 老若男女が楽しく読める

週刊 金曜日発行 ■購読の申込は市町村農業委員会へお気軽に連絡ください。  
 ■発行所 全国農業会議所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル  
 月600円、年7,200円 (消費税込) 電話 03-5251-3910 ホームページ http://www.nca.or.jp/shinbun

## あとがき

TPPの本格交渉がスタートしました。即座に多大な影響が出ることは無いと言われていますが、重要品目の関税など予断を許さない状況です。国の礎である農林水産業を守るべく、政府の交渉を注意深く見守らなければなりません。今回の表紙はいつもと趣向を変えて、切田集落の神楽を題材にしました。

江戸時代から続く五穀豊穡を願った祭事ですが、演じているのは地元の子供達です。過疎化が叫ばれる現在でも、古き良き伝統が受け継がれている事は喜ばしいことです。いつまでもこの伝統が続くことを願っております。

- |        |       |
|--------|-------|
| 広報委員長  | 本間 進二 |
| 広報副委員長 | 鍋倉 静雄 |
| 広報委員   | 斎藤 泰  |
| 広報委員   | 鈴木 和弘 |
| 広報委員   | 富樫 照子 |